

平成 22 年（2010 年）2 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（2 日目）

平成 22 年 2 月 25 日（木）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	花城 正樹 (民主党)	1 観光行政について	(1) 本県の修学旅行者数の 5 年間の推移と本市の取り組みについて (2) 本市の路上喫煙防止事業と東京都千代田区との事業の比較を伺う (3) 国際通り周辺での A E D 設置数について伺う (4) 美ら島総体 2010 における大会運営について伺う
		2 平和交流について	(1) 太平洋戦争における南洋群島での県出身者の犠牲者数について伺う (2) 南洋群島帰還者会に対する本市の取り組みについて伺う
		3 協働のまちづくりについて	(1) N P O 団体に対する本市の支援にはどのようなものがあるか伺う (2) 「みらいファンド沖縄」とは何か
		4 衛生的な環境の確保について	ペットを適正に飼育するための啓発活動とは、具体的にどのようなものか伺う
		5 文化継承と発展について	校歌着うた配信事業の概要を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	唐真弘安 (自民・無所属 連合)	1 政治とカネ の問題について	<p>琉球新報2010年2月17日(水)の朝刊社説に、次のように書かれている</p> <p>「鳩山首相や、小沢一郎民主党幹事長らの『政治とカネ』の問題に国民の疑念が渦巻く中、提案が抜本的改革への一石となってほしい。経済同友会がまとめた企業団体による政治献金の原則禁止に関する意見書のことだ。」</p> <p>同じく琉球新報2月20日朝刊、読者の声として69才の伊良皆貞雄氏は「鳩山首相はうつけ者か」と題して投稿されていて、その一部分を紹介致します。紹介する前にうつけ者とは、ぼんやりしている人のことである</p> <p>「さて、鳩山首相は実母から総額12億6千万円、一日換算で50万円に上る資金提供を受けながら『まったく知らなかった』の一点張りである。国民は首相がそう言えば言うほど『この人はどういふ考えをしているのか』と言う思いになる。一般社会で通用する常識ではない。数年にわたり提供され続けた巨額資金、それを本当に知らなかったのであれば『うつけ者』である。社会人としては失格である。」</p> <p>このような声が公器である新聞紙面に踊り、一方では与党民主党の小沢幹事長においては、不起訴になったのであるが、御案内のように4億円もの現金を数年にわたりタンス預金をしておられた事実は、国民庶民の感覚からは遠く考えられないことである。不起訴になったから「一件落着」で政界をのしのしと渡り歩く有り様は、本員としては全く納得がいかないと強く訴えたいのであります</p> <p>遠い昔、中国から渡来した格言に「李下に冠を正さず」というのがある。李とはすもものことである。すももの木の下で冠を直せば、すもものを盗まなくても盗んだのではないかと疑われないとも限らない。だからすももの木の下では冠がずれていても我慢して冠を直さない。「人から疑われるようなことをしてはならない」という格言である。このことは政治家の道徳として、最低限守らなければならないモラルである</p> <p>ご承知のように、裁判では証拠主義であるが、政治は信頼主義であり信無くば成り立たずであります</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>現下の国内状況は、住む家も無く、働く職場も無い「日雇いのサンタが帰るカフェ」。多くの国民が生活苦にあえいでいるというのに、我が祖国日本の総理大臣は10年以上も母親から毎月1,500万円のお小遣いを頂きながら頂いていることすら全く知らなかった総理大臣を私達国民は頂いているのである。コンクリートから人へも、友愛の精神も本当の脱官僚が前提である</p> <p>御存知のように官僚は大変な秀才揃いである。金で汚れた身で秀才官僚を使いこなすことは不可能である。官僚の皆々様から尊敬される政治家が今日の日本に求められているのである。そのためには、政治家が王道を歩かなければならない。政治家自ら身ぎれいにして王道を歩く。常に政治家はゲーテの言葉として有名な「政治家の死からは希望が生まれる」を忘れないことである</p> <p>以上のような政治とカネの問題に対する本員の見解に対して翁長市長の見解を伺う</p> <p>2 市村合併について</p> <p>那覇市は3年以内に中核市移行の計画である。古くて新しいテーマと本員は認識しているが、渡嘉敷村、座間味村との合併等は、中核市移行の際に大所高所から検討する必要があると思う。当局の見解を伺う</p> <p>3 市民会館建設について</p> <p>市長の施政方針に市民会館の早期建て替えに向けて、整備基金の設置など具体的な調査検討を進め、5年以内には建て替えを完成させる計画の説明が当局からなされているが、場所については全市民的立場と、那覇市全体の整合性ある発展と50年後の市民から高く評価される市民会館建設のために頑張ってもらいたい。当局の答弁を求める</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	山川 典二 (改革クラブ)	<p>1 指定管理者制度について</p> <p>2 アスベスト問題について</p>	<p>那覇市の指定管理者制度の現状について伺う</p> <p>(1) 指定管理者制度導入の目的と現況はどうか</p> <p>(2) 指定管理者数と指定管理料の年間総額と、これまでの累計額はいくらか</p> <p>(3) 教育・文化施設や保健福祉施設等、本市直営と指定管理者による管理の現状との差異を検証したことがあるか、当局の見解を問う</p> <p>(4) 指定管理者の公募の時期、選定方法、必要条件、基準等、統一的ルールがあるのか また、導入結果についての点検、総括状況はどうか</p> <p>(5) 「環境の杜ふれあい」の指定管理者選定の現状について</p> <p>アスベストは静かな時限爆弾と呼ばれ、がんの一種である中皮腫や肺がんを引き起こす恐怖の物質である。市民の生命を守るという観点から当局に問う</p> <p>(1) 市内の公共施設におけるアスベストの実態はどうなっているか。過去の調査実績はどうか。とりわけ小中学校の施設、市営住宅、公民館の実状の説明を求める</p> <p>(2) 今後の解決策と計画、財源はどうするのか</p> <p>(3) 本市公共施設のアスベスト完全撤去(完全処理)はいつ頃を目途としているのか伺う</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 環境行政について	<p>今月21日午前1時、那覇市牧志の牧志公園(牧志ウガン)近くで、闘犬2頭が逃げ出した(アメリカンピットブル、イングリッシュピットブル、体長60~80cm、体重約30kg)</p> <p>本員を含め何人かの議員から飼い犬、特にどうもうな闘犬の安全管理について、本会議や厚生経済委員会の中で指摘されている。当局の安全対策について伺う</p> <p>(1) 本市登録の飼い犬数と闘犬数、及び登録外の飼い犬数と野良犬数、闘犬数を伺う</p> <p>(2) 本市における過去の事故の実態はどうか。また、飼い主への安全管理指導の内容と状況はどうか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	前田 千尋 (日本共産党)	<p>1 公園管理行政について</p> <p>2 農連市場地区再開発事業について</p> <p>3 女性特有のがん検診について</p>	<p>(1) 2008年12月議会で「中央公園周辺の民家に野球・ゴルフボールなどが飛び込み、さらに同公園からの砂塵の飛散により、周辺住民が大変困っており、その改善が求められている。当局は直ちに対応すべきではないか。」と求めてきたがその後の対応と進捗状況を問う。さらに、公園内テニスコートも補修をしてほしいと要望があるが見解と対応を問う</p> <p>(2) 現在、市内の公園トイレは和式が多数である。特に高齢者から洋式も設けてほしいとの切実な声があるが見解と対応を問う</p> <p>(1) 事業内容と進捗状況について</p> <p>(2) 組合の方々との合意状況について</p> <p>(3) 現在、商売をしている人たちが引き続き支障なく営業できるようにするべきである。また、再開後の市場が効果的に機能するように今から経済観光部が積極的に関わるべきである。見解と対応を問う</p> <p>(4) 同地域は人口の減少が起きている。市営住宅を人口誘導政策として活用すべきではないか。見解と対応を問う</p> <p>(1) 女性特有のがん検診の役割について問う</p> <p>(2) 「がん検診無料クーポン」の取り組みと次年度からの予定について問う</p> <p>(3) 子宮頸がんの感染予防ワクチンを効果的に接種するために、受診費用の助成と、接種年齢を10代前半とされることから子宮頸がんやワクチンの大切さを知らせ、合わせて学校でも親子でも自分の体や性について学び、考える機会とすることが大切と考えるが見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	野原 嘉孝 (公明党)	<p>1 学童保育について</p> <p>2 介護施設について</p> <p>3 交通行政について</p>	<p>(1) 本市における「学童保育」の位置付けと認識を伺う</p> <p>(2) 件数（公立公営、公立民営、私立民営）人数、待機児童数の現状はどうなっているか</p> <p>(3) 障がい児受け入れの現状と公的にどのような支援が行われているか</p> <p>(1) 介護施設の種類と市内の件数、人数</p> <p>(2) 待機者の人数とその実態</p> <p>(3) 本年1月、安里にて介護施設として借り上げられていたアパートの1室で火災が発生したが、その施設の位置付けはどうなっていたのか</p> <p>(4) 民間アパート等の借り上げ施設の件数と利用者数を伺う</p> <p>(1) 銘苅庁舎・銘苅小学校間の敷地内通路の歩道整備について今後の計画を伺う</p> <p>(2) 昨年より信号機左折指示の取り外しをしている交差点が増えてきているがなぜか</p> <p>(3) 新都心・銘苅の「てんとう虫公園前交差点」信号機の設置要望に対する動きはどうなっているか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	宮平のり子 (社社連合)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 ガープ川鉄砲水死亡事故について</p> <p>3 福祉行政について</p> <p>4 教育行政について</p>	<p>(1) 名護市長選挙の結果についてと普天間基地の辺野古移設について、名護市長選挙の結果を斟酌する必要はないとした平野内閣官房長官発言について何う</p> <p>(2) 戦後65年、安保条約改定50年経った今日でも、他国の軍隊を国内に置いていることについてどう思うか</p> <p>(1) 平成20年に東京都で起きた集中豪雨による死亡事故の教訓を、なぜ那覇市は生かすことができなかったか</p> <p>(2) 点検口を救命のために使えるよう整備すべきだと思うが、事故後どのような改善策がとられているか</p> <p>(3) 被害者家族に対する那覇市としての精神的、経済的な補償はどのように考えているか</p> <p>平成20年度、21年度の介護認定の区分変更申請は何件あるか。変更された要介護度は何件で、どのように変更されているか、また、不服申し立ては何件あるか</p> <p>(1) 学校給食の食材の沖縄県内産、県外産、外国産の割合と残留農薬等のチェックはどのようにしているか何う</p> <p>(2) 何らかの理由で義務教育を未修了にしている実数と未修了の理由、今後の支援策を何う</p> <p>(3) 私立中学校の授業料の助成はどうなっているのか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p data-bbox="735 286 1442 365">(4) 全国学力テストの意義とその結果はどのように教育現場に生かされているか</p> <p data-bbox="746 1928 1283 2007">【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	平良 識子 (社社連合)	<p>1 文化財行政について</p> <p>2 都市計画行政について</p>	<p>(1) 大嶺集落における文化財調査の進捗状況と集落跡地保全について伺う</p> <p>(2) 2009年に文化庁がユネスコへ世界遺産について報告することになっているが、那覇市はその内容をどう把握しているのか</p> <p>(3) ユネスコ憲章から世界遺産は平和の象徴的なものでなければならない。しかし、首里城下の沖縄戦を象徴する第32軍司令部壕の文化財保存活用の状況はいっこうに進んでいない。那覇市として今後どのように対処していくか</p> <p>(1) 那覇市都市計画マスタープランでは、若狭、波の上地域を含む那覇西地域を都市型リゾート拠点と位置付けているが、具体的にどのような計画が進められているか伺う</p> <p>(2) 那覇市道における自転車道の整備実績はどうなっているか伺う</p> <p>(3) 現在の自転車交通量はどうか。また「那覇市交通基本計画(素案)」による2030年の目標数値はどうか</p> <p>(4) 現在および今後進める市道路整備計画において、自転車道の整備も併せて取り組むべきである。今後の計画について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 水資源の有効利用について</p>	<p>(5) 歩行者が歩きやすく、かつ都市の緑地帯を増やす上でも、市道の街路樹整備事業をもっと強力に推進するべきである。現状認識と今後の目標および具体的実施計画はどのようなになっているか</p> <p>(6) 世界遺産を有する那覇市は、首里城からの景観保全は重視しなければならない。水平線を保全するため都市計画に高さ制限を設けるべきではないか</p> <p>都市の最大のダムは、生活用水といわれている。那覇市はその生活用水をどのように利活用しているのか問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	比嘉瑞己 (日本共産党)	<p>1 後期高齢者医療制度について</p> <p>2 認可外保育園への支援について</p> <p>3 「那覇市次世代育成支援行動計画（後期）」における学童保育について</p>	<p>(1) 制度の廃止が「先送り」されることによって、後期高齢者の対象者は毎月何人増えていくのか。100歳以上の高齢者は何人いるのか。お年寄りいじめの「後期高齢者医療制度」は先送りせずに、直ちに廃止すべきである。当局の見解を求める</p> <p>(2) 沖縄県後期高齢者医療広域連合が基本健診料の自己負担分の助成をはじめ。これまで那覇市は独自事業として行っていたが、それに代わる事業として、がん検診や各種予防接種の無料化事業を行うべきと考えるが、当局の見解を問う</p> <p>認可外保育園の認可化助成の上限が引き上げられた。那覇市は計画の前倒しを行い、認可外保育園の認可化促進や、各種支援を強化すべきである。当局の見解を問う</p> <p>次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会を創るために、次世代育成支援対策推進法に基づいて、市町村においては5年を一期とする次世代育成支援対策の実施に関する計画を策定することが義務づけられている 那覇市では現在、平成22年度～26年度までの5年間の計画策定を進めているところであり、このたび計画「素案」がまとまった 幅広い市民の声を反映させ、よりよい計画を策定していくために以下質問をする</p> <p>(1) 那覇市次世代育成支援行動計画の政策的役割と策定までの過程について答弁を求める</p> <p>(2) 放課後児童クラブ(学童保育)の事業目標数値についての算出根拠を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 各児童クラブや、子育て世帯の実態調査を行うとともに、国や県のあらゆる施策を活用した「那覇市次世代育成支援行動計画（後期）」を策定すべきである。当局の見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成22年2月25日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	大浜 美早江 (公明党)	<p>1 女性の健康支援について</p> <p>2 アレルギー疾患対策について</p> <p>3 認知症理解について</p>	<p>(1) 子宮頸がん予防ワクチンの接種について</p> <p>ワクチン接種の対象年齢及び予防効果について伺う</p> <p>対象者への啓発をどう図るのか伺う</p> <p>本市の全中学1年生を対象に接種費用の公費助成を行った場合、予算額(見込み)はどのくらいか</p> <p>(2) 「女性の健康手帳」の活用について検討状況を伺う</p> <p>(1) 文科省から示された「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の概要を伺う</p> <p>(2) ガイドラインに基づく本市の取り組み状況と課題点について伺う</p> <p>(1) 「那覇市 認知症市民セミナー」開催の目的と成果について伺う</p> <p>(2) 今後の具体的な取り組みについて伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>